

【児島湖塾】

児島湖探検 “夏の学習 ” の概要

主 催 岡山県環境管理課
実施団体 NOP法人 岡山環境カウンセラー協会
後 援 岡山県教育委員会

ねらい

児島湖を県民の貴重な財産として次世代に継承していくために、児島湖とその周辺の自然観察をとおして、自然の大切（生命）さと身近な環境問題に対する関心を高め、児島湖の環境保全に必要な知識や自然観察の仕方について体験学習する。

実施日 平成18年 8月11日（金）

参加者 小学4年生以上と中学生の35名

内 容

- ・ 児島湖の歴史とその役割、私たちがとのかかわりについての話
- ・ 児島湖ふれあい野鳥親水公園の見学とその周辺の自然観察
- ・ 小型船に乗って漁師さんが定置網で捕獲した魚類の観察、湖内の自然観察
- ・ 上流域と児島湖内の水質の比較など

環境学習の目標

- ・ 児島湖は、どんな湖なのかを身近に感じとる
- ・ 観察したことを記録する
- ・ 記録したことからわかること、「まとめ」をすること

成 果

- ・ 小型船で、児島湾から締切堤防ゲートを通って湖内に入れ、身近に自然観察（野鳥、水性植物など）、また漁師さんが実際に定置網をあげて、どんな魚などが獲れているのか、手にとって見ることができた。
- ・ 児島湖の生き物の実態（生態系）、生物の多様性が実体験できた。
- ・ 児島湾、湖内、笹ヶ瀬川河口の水の様子（濁り）の違いがわかった。
- ・ どうすればもっと生き物たちが、棲みよい環境にできるかを考える動機づけができた。

（2006.9.9 企画実行責任者 森田）

